

第19回燕市美術展覧会 受賞作品

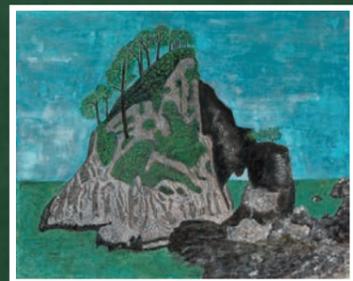
燕市美術展覧会を10月26日～29日の間、開催しました。今年の受賞作品を紹介いたします。

問合せ 社会教育課 文化振興係 (中央公民館内) ☎ 63・7002

市展賞 (敬称略)

● 日本画部門

『つりがね洞』
出雲文次(吉田曙町)



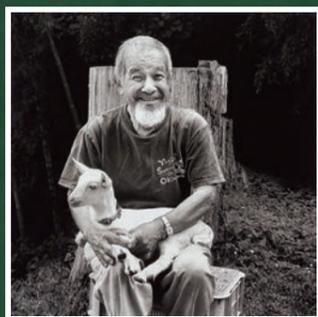
● 工芸・彫刻部門

『自由に』
遠藤紀美子(南六丁目)



● 写真部門

『私の「宝っこ」』
菊地富二江(八王寺)



● 洋画部門

『帰り道』
土田明(桜町)



● 書道部門

『桜のバトン』
小林碧泉(上諏訪)



他の受賞者の皆さん (敬称略)

● 日本画部門

【奨励賞】 若林順子(分水学校町)
小柳訓江(田上町田上丙)

● 洋画部門

【奨励賞】 星寛(佐善)
関川宏(吉田東町)

● 工芸・彫刻部門

【奨励賞】 青木啓子(新生町)
宮田紗希(下太田)

● 書道部門

【新潟日報美術振興賞】 星野和泉(粟生津上組)
【奨励賞】 岡村清水(見附市学校町)

● 写真部門

【奨励賞】 小野塚赤泉(新潟市西蒲区六分)
鈴木昭子(吉田大保町)
西山栄子(西燕町)

● 工芸・彫刻部門

【スワロー賞】 坂爪寛奈(吉田浜首町)

● 写真部門

【新潟日報美術振興賞】 前山嘉代子(吉田宮小路)
【奨励賞】 山田健一(中川)
岡田卓義(三条市一ノ門)
栗田晋一(吉田浜首町)

まちなかコラム

燕市では、各地区の商店街エリアの活動を支援しています。今回は分水地区の様子をご紹介します。

第2回 分水地区

分水地区では、一つの場所に分水地区の店舗が集結する、その日限りの出張商店街『だんだん市』を定期的に開催しています。各店舗が一堂に会し、イチ押しの商品を紹介することで、新たなお店との出会いや人々の交流が生まれる貴重な機会となっています。

10月14日の開催では、『レトロ』をテーマに、紙芝居・大道芸の披露や昔遊びのブースを設けました。子どもたちは昔遊びに目を輝かせ、大人は懐かしい遊びの数々を思い出しながらチャレンジするなど、商店街に人々の活気と笑顔が溢れました。

また、イベントの実施にあたり、商店街の「空き家・空き店舗」の課題について考える取り組みも実施しました。空き店舗を活用した大学生主体の体験ブースや地域の空き家を巡る「まちあるきツアー」を実施し、地域や空き家の可能性を皆さんから感じてもらいました。

今後も地域の課題と向き合いながら、『小さな街の大きな魅力』の発信に向け、取り組みを進めていきます。



▲商店街に賑わいが溢れた「だんだん市」当日の様子

camera view

●「広報つばめ」だけでは物足りないあなたへお送りする「Web版カメラビュー」
https://www.city.tsubame.niigata.jp/keikaku/koho/2_1/index.html



●市内の出来事や、頑張っている皆さんの姿を紹介するコーナーです。



「広報つばめ」子ども記者終了式

● 10月23日 燕市役所

11月1日に発行した『広報つばめ子ども版』。その制作にあたった小学5・6年生の子ども記者18人の活動の終了式を開催しました。式では、作成した紙面のプレゼンテーションや感謝状の贈呈などを行いました。



火災に備える! 防火教室を実施!

● 11月1日 粟生津保育園

調理室からの出火を想定した避難訓練を実施し、防災頭巾の装着・移動・整列など、一連の動作を体験。訓練後、消防署の職員から「おはしも」などの避難時の心構えを学び、訓練の大切さを改めて知る機会となりました。



ハロウィン仕様で200メートルいちびを開催

● 10月26日 穀町、宮町、仲町、秋葉町

ハロウィンの飾り付けをした店舗や出店が来場者をお出迎え。仮装して訪れる来場者も多く、たくさんの方で商店街が賑わいました。なかでもおぼけやしきが大人気で終了時間まで行列が途切れませんでした。



オリンピックが来燕! 健康セミナーを開催

● 11月2日 スポーツランド燕

東京2020オリンピックメダリストの清水希容さん(空手)と大橋悠依さん(水泳)を特別ゲストに招き、健康セミナーを開催。「ながら運動」の講習会や目の機能が低下する「アイフレイル」などの知識と予防を学ぶ機会となりました。